

個人と会社の総合診断のお勧め

継続コンサルティングのご案内

税理士 市川俊夫

個人と会社の総合診断のお勧め

1 総合診断の必要書類は

個人と会社の総合診断のためには、どんな**書類**が必要なのでしょうか。

(1) 家族と会社です、
主に、家族構成です、
総合診断ですから、まず家族構成を教えてください。
次に、会社です、
本人、および家族が関係する全ての会社を教えてください。

(2) 会社の決算書です
会社の評価をするためには、三期の決算書と申告書が必要です。
既に自社株の評価をしている場合には、それも見せてください

(3) 土地、建物です
本人を含め家族、会社所有の土地、建物を教えてください
固定資産税評価証明書（または名寄せ帳）を取ってくれば、あとはこちらで取ります。
公図、住宅地図、路線価図等です。

(4) 個人の確定申告書
本人を含め家族の、決算書ならびに確定申告書です。

(5) 債務です、
主に銀行借入金の明細です、
銀行借入金以外でも債務がありましたら、それも見せてください

(6) その他です、
上場株、生命保険、現金預金、ゴルフ会員権等です、
個人の秘密ですので、なかなか出す事を躊躇する部分かと思います。
しかしなるべく詳しく見せてください、見せていただけないと、判断を誤りますから、
ここは、信用してもらえないかと思っています。
しかし、どうしても躊躇するようであれば、
現金預金 3,000万円、というような表現でも結構です。

2 何を検討するのか

個人と会社の総合診断は、主に何を**検討**するのでしょうか

(1) 会社です、

何をおいても、まず会社の評価です。

会社の評価をもとに、事業承継を検討します、

事業承継税制は、使えるのか、その時の問題点は何か。

事業承継税制を使った場合、評価はいくらになるのか。

自社株の贈与、譲渡はどうするのか。

(2) 土地、建物です、

どこにどんな土地、建物を持っているのか。

評価はいくらか、時価はいくらか。

贈与を検討するのか、

譲渡を検討するのか、それは同族会社か、第三者か。

(3) 借入金の5年間、10年間、20年間の推移です、

銀行借入金は、どこにいくらあるのか、

また5年後、10年後、20年後は、どう推移するのか、

借金を返済する場合、どのように返済するのか。

(4) 相続税の試算です、

現在の評価で相続したら、相続税はいくらか。

対策を実行すれば、相続税はいくらに変わるのか

(5) 収益の試算です、

本人を含め家族全員の収益を試算します、

それが、対策を実行すれば、どう変わるのか。

何と言っても一番大事な事は、キャッシュフローです。

3 何を提案するのか

1 銀行借入金から脱出する事

個人と会社の総合診断の結果、**銀行借入金から脱出する事**を提案します、すぐに出来なければ、5年、10年計画で脱出することを提案します。

何よりも大事な事は、キャッシュフローです、キャッシュフローが黒字になる事が第一優先です、それは利益に優先すると思います。

先日実行した会社では、当初1,000万円の利益が出ていましたが、キャッシュフローは1,000万円の赤字でした。

いくつかの提案の結果、3億円の銀行借入金を全額返済しましたので、キャッシュフローは5,000万円の黒字になりました。

キャッシュフローが5,000万円になると、夢のような会社になります、なおかつ役員退職慰労金を取りましたので、しばらくは法人税等の負担がありません。

どうすれば、そういう会社になるのでしょうか？
それを提案します。

2 欠損金から脱出する事

日本の会社の70%が**欠損**です、つまり**赤字申告**です。
それがもう10年間続いています。

そして、中小企業は、20年間で113万社が廃業しています、1996年533万社あったのが、2006年には420万社になりました、どうやら、この流れは変えられそうにありません。

そんな欠損金から脱出する事、本当に出来るのでしょうか？

出来ます、しかしそれには条件があります、難しい事ではありません。

そうすれば、欠損金から脱出出来ます、それを提案します。

3 事業承継計画

事業承継税制を活用し、納税猶予制度を使うには
現経営者が有する自社株式や事業用資産について、後継者が支障なく
取得するための**具体的な計画**を作成し、経済産業大臣が予め確認する事が重要です。
その作成のためのお手伝いをします。

また、その後5年間は8割以上の雇用を維持して継続することが必要です、
その為には、企業体質を強化する事が何より重要です、
企業体質強化のための、具体的提案をします。

また、必要に応じて時価発行増資の提案をします、
2億円のお金が、会社に入ります、これは画期的です。

また、その結果個人の生活はどう変わるのか、具体的に提案します。

4 個人と会社の総合診断のお勧め

1代金は294,000円です。

おおむね**3回**ほど行います

第1回目は、最初の面談です、現在の状況をお聞かせ下さい、
その時に資料をお渡し下さい、不足資料がありましたら郵送かメールでお願いします。

第2回目は、調査です、訪問し調査します。

その時色々質問しますので宜しくお願いします。

第3回目は、報告です、調査結果を報告し、改善提案をします、どうぞご検討下さい。

代金は、**294,000円**です、

大変格安だと思いますが、どうでしょうか。

今までにも、多くの改善提案を行ってきました、

そして多くの人に喜んでもらっています。

遠方の方は**交通費**の負担をお願いします。

2 なぜ総合診断なのか

なぜ、個人と会社の総合診断なのでしょう。

私たちは、事業経営をしています、**日常業務に忙殺**されています。

会社の戦略、大事な事はわかります。

相続税の試算と対策、大事なことはわかります。

収益分析、大事な事はわかります。

しかし、日常業務に忙殺されています。

私は、税理士事務所を経営していますが、
すべてのお客さんに、個人と会社の総合診断をしているわけではありません。
依頼されなければ、やりません。

あなたの会社の顧問税理士より、私のほうが優れている、
たぶんそんな事はないと思います。
大事なものは、あらためて行うことです。

一生に何回か、**会社の戦略**について考えてみませんか。

相続税の試算と対策をしませんか、

収益分析をしませんか。

それが大事なのだ、と思います。

継続コンサルティングのご案内

1 目的は、次の3つです

1 銀行借入金から脱出する事

日本の中小企業は、借金漬けです、
何せ利益も出さず、増資もせず、ですから。
その銀行借入金から脱出する方法なんてあるのでしょうか？
あります、それを、一緒に2年間で達成します。

目的は、キャッシュフローが黒字になる事です、
キャッシュフローが黒字になると、不思議です、次の戦略を考えます、
考え方が、積極的になります、私は、これが一番大事だと思っています。

2 欠損金から脱出する事

日本の会社の70%が欠損、つまり赤字です。
なんとかしなければなりません、このままでは、日本は、まもなく沈没です。

私は、欠損金から脱出するポイントは、経営改善であると、思っています、
問題点があるから、赤字なのです、その問題点を探す事が最初です、
問題点がわかれば、解決の方法は探れます。

私は、欠損金から脱出なんて無理、だと思っていました、
私にできる事でないと思っていました、でも出来ました、
方法は簡単です、問題点を解決すれば、いいのです、本当です、やれば出来ます。

3 事業承継税制を利用する事

事業承継税制を利用すれば、驚くほど少額の相続税しかかかりません、
だったら、会社を豊かにする事が一番です、
個人ではなく、会社です。
会社を豊かにする方法を提案します。

何せ、5年間は80%の雇用を維持しなくては、いけないので、
企業体質を強化する事が、今一番求められている事です、
下手な節税ではありません、大事な事は会社を豊かにする事です。

そのために、大事な事は、個人と会社は一心同体と考える事です、
どうせ投資するなら、まず自分の会社と考える事です。

2 継続コンサルティングについて

1 期間は

期間は、2年間にしてください。

2年以下を希望する会社もあると思いますが、私の経験によると、目的を達成するためには、最低2年は必要です、どうぞご了承下さい

2 代金は

代金は、月額98,700円です。

遠方の会社は、旅費の負担をお願いします。

高いか安いかは、目的とその達成割合により、判断の分かれるところだと思います。しかし、銀行借入金から脱出し、欠損金から脱出し、事業承継計画が出来れば、かなり安いと思います、がどうでしょうか

3 地域は

要望があれば、日本中どこへでも行きます、

私は、このコンサルに自分の税理士人生をかけていますので。

4 2年間のタイムスケジュール

個人と会社の総合診断後、

まず2年間のタイムスケジュールを作成します。

5 経営会議

毎月1回経営会議に出席します。

この会議は大変重要です、

タイムスケジュールにのっとり、1ヶ月間で実行した事を確認しあい、

次の1ヶ月間の予定を決めます。

その結果、2年間でその目的を達成したいと思っています。